



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。e-mailでjimuj@geppou.asj.or.jp宛。
なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487迄お送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

国立天文台教官 電波天文学研究系助手

1. 助手1名
2. (1) 太陽電波
(2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山
3. 太陽電波（太陽物理学、電波天文学）
国立天文台の太陽電波グループは電波ヘリオグラフを中心に観測・研究を進めつつ、データを国内外の太陽及び関連分野の研究者の共同利用に供しています。太陽観測衛星「ようこう」やRHESSIのデータを用いた、太陽フレアにおける高エネルギー現象の研究に力を注いでおり、今後はSolar-B衛星との共同観測・研究を予定しています。電波ヘリオグラフのデータを中心にして太陽物理学の研究を行うとともに、データの共同利用を推進する助手を公募します。これまでの研究分野は問いません。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 5年
6. 大学院修士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書、(2) 研究歴（これまでの研究内容の概要を含む）、(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと）及び主要論文別刷、(4) 研究計画書、(5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先、(6) 他薦の場合は推薦書の他に、前記事項(1)～(4)の概要がわかる事項。

8. 2003年11月3日(月) 必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 海部宣男
(2) 〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2
野辺山太陽電波観測所長 柴崎清登
Tel: 0267-98-4488
E-mail: shibasaki@nro.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「太陽電波助手人事応募書類在中」と朱記し、郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会において行います。

国立天文台教官

赤外線位置天文観測衛星計画助手

1. 助手1名
2. (1) 位置天文・天体力学研究系
(2) 東京都三鷹市大沢2-21-1
3. 赤外線位置天文観測衛星計画
銀河系ディスクやバルジの星の位置・年周視差・固有運動を約10万分の1秒角という高精度で測定し、銀河系やその構成天体の解明を目標とする赤外線位置天文観測衛星（JASMINE）の検討が、将来計画の一つとして国立天文台を中心に進んでいます。JASMINEに関わる検討・開発を行い、JASMINE計画全般や将来にむけた技術開発に積極的に取り組みつつ、銀河系研究を推進する助手を公募します。今までの研究分野は特に問いません。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書、(2) 研究歴（これまでの研究内容の概要を含む）、(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと）及び主要論文別刷、(4) 研究計画書、(5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先、(6) 他薦の場合は推薦書の他に、前記事項(1)～(4)の概要がわかる事項。
8. 2003年11月3日(月) 必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台長 海部宣男

(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台位置天文・天体力学研究所教授
郷田直輝

Tel: 0422-34-3616

E-mail: naoteru.gouda@nao.ac.jp

10. 封筒の表に「JASMINE 計画助手人事応募書類在中」と朱記し、郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会において行います。

国立天文台教官公募 電波天文学研究系助手

1. 助手 1名
2. (1) 電波天文学研究系
(2) 東京都三鷹市大沢 2-21-1
3. アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計 (ALMA) 計画 ALMA 計画においてサブミリ波・ミリ波天文学を推進し、その建設に積極的に関わり、特に最先端の受信機開発に邁進する若手研究者を求めます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと) 及び主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合は推薦書の他に、前記事項 (1) ~ (4) の概要がわかる事項。
8. 2003 年 11 月 3 日(月) 必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 海部宣男
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台電波天文学研究系主任 近田義広
Tel: 0422-34-3568
E-mail: CHIKADA.Yoshihiro@nao.ac.jp
10. 封筒の表に「ALMA 計画助手人事応募書類在中」と朱記し、郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会において行います。

国立天文台 VLBI 分野助教授または助手

1. 助教授または助手 1名
2. (1) 地球回転研究系
(2) 東京都三鷹市または岩手県水沢市
3. 本格的な経常観測開始が始まる天文広域精測望遠鏡 (VERA) プロジェクトに参加し、データ解析体制

の整備をはじめ、VERA による天文学・測地学研究を積極的に推進する助教授または助手を求めます。

5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと) および主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合は推薦書の他に、前記事項 (1) ~ (4) の概要がわかる書類。
8. 締切: 2003 年 10 月 20 日(月) 必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 海部宣男
(2) 〒023-0861 岩手県水沢市星ガ丘町 2-12
国立天文台地球回転研究系主任 真鍋盛二
Tel: 0197-22-7133
E-mail: manabe@miz.nao.ac.jp
10. 応募書類には助教授または助手応募の別を明記し、封筒の表に「地球回転研究系助教授応募書類在中」または「地球回転研究系助手応募書類在中」と朱記して、郵便の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会において行います。

日本大学文理学部物理学科教員公募

1. 助教授、または専任講師 1名
2. 物理学科
3. 宇宙物理学または天体物理学 (理論)
4. 当該分野の研究と学部・大学院の教育
5. 2004 年 4 月 1 日
6. 博士の学位を有し、年齢は 32 歳以上 40 歳程度までの方。
7. ○履歴書 (写真貼付), ○研究業績リスト (共著の場合は第一著者か否かを明記のこと), ○これまでの研究概要 (業績リストの論文を引用し 2500 字以内にまとめること), ○主要論文別刷り 5 編以内
○本学での教育と研究に関する抱負 (1000 字以内), ○推薦書 1 通, ○推薦者以外に意見を伺える方 1 名 (所属、連絡先も明記のこと)
8. 2003 年 11 月 8 日(土)必着
9. (1) 〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40
日本大学文理学部物理学科主任 村山和郎
Tel: 03-3329-1151 (内線 5512)
(2) 物理学科 鈴木俊夫
Tel: (内線 5511)
E-mail: suzuki@chs.nihon-u.ac.jp
10. 応募書類は書留で郵送してください。ただし、応

募書類は返却しません。

11. 適任者がいない場合は採用を保留します。

京都大学基礎物理学研究所教官

1. 助教授 1名
3. 宇宙物理学(理論)
5. (1) 決定後できるだけ早い時期を希望
(決定は2004年1月下旬)
(2) 5~10年
7. (1) 履歴書, (2) 発表論文リスト(主要論文5点以内に印), (3) 主要論文別刷(コピー可), (4) 研究歴(研究成果), (5) 就任した場合の研究計画, (6) 着任可能時期[以上各2通], (7) 他薦の場合は推薦書
8. 2003年10月15日(水) 必着
9. (1) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学基礎物理学研究所長 九後太一
(2) 同研究所 藤田
Tel: 075-753-7009
E-mail: fujita@yukawa.kyoto-u.ac.jp
10. 封筒に「助教授応募(推薦)書類在中」と朱書のこと。提出書類は原則として返却しません。

明星大学理工学部物理学科教員

1. 教授, 助教授または専任講師 1名
2. (1) 理工学部 物理学科
3. 理論物理学
4. 電磁気学, 卒業研究指導など
5. 2004年4月1日
6. (1) 博士号取得者(または着任時までに取得確実な方), (2) 着任時45才以下の方, (3) 基礎教育と学生指導にも理解と熱意をもち, 本学の教育理念に賛同できる方。
7. (1) 履歴書および研究業績表(本学指定様式のもの, 下記11. 参照) 各1部, (2) 研究業績表のうち主な著書・論文別刷り(コピーも可) 3~5篇, (3) 本学における教育および研究に対する抱負(800字程度, 自筆), (4) 可能であれば, 推薦書および参考意見を聞くことのできる方2名の氏名, 所属, 連絡先
8. 2003年10月31日
9. (1) 〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1
明星大学理工学部長 佐久山博史
(2) 物理学科主任 長田哲夫
Tel: 042-591-7124(直通)

E-mail: nagata@phys.meisei-u.ac.jp

10. 封筒の裏に「物理学科教員応募書類在中」と朱書きの上, 書留郵便で送付のこと。
11. (1) 応募書類は, 選考の進行状況に応じて追加していただくことがあります。応募書類中の本学指定様式など詳細は <http://www.meisei-u.ac.jp>

山梨大学教育人間科学部教員

1. 助教授または講師 1名
2. (1) 山梨大学教育人間科学部理科教育講座
3. 実験物理学(どの実験物理学の分野かは問いませんが, 独立して研究を進めることが出来る方)
4. 学部では物理学に関する講義及び実験の他, 教養教育の科目を担当していただきます。大学院(教育学研究科)では, 物理学に関する講義, 演習を担当していただきます。
5. (1) 平成16年4月1日
6. (1) 博士の学位を有すること, (2) 平成16年4月現在で年齢35才以下であることが望ましい。
7. (1) 履歴書(様式は自由であるが, 学歴, 職歴, 研究歴, 受賞・学会および社会における活動などを含む。), (2) 研究業績一覧[著書, 学術論文, 口頭発表(最近の5年間程度), その他], (3) 主要な著書および学術論文の別刷りまたはコピー(5編まで各1部), (4) これまでの研究・教育, 学会活動などの概要(2000字程度), (5) 着任後の研究計画(1000字程度), (6) 教育活動についての抱負(1000字程度), (7) 推薦書1通, または意見を求めることが出来る方2名の氏名・所属・連絡先(住所, 電話, メールアドレス), (8) 本人と直接連絡をとる方法(電話またはメールアドレス)
8. 平成15年10月31日(金) 必着
9. (1) 〒400-8510 甲府市武田4-4-37
山梨大学教育人間科学部長 井上範夫 宛
(2) ・公募内容に関する事項
理科教育講座 講座主任 廣瀬裕子
Tel: 055-220-8182
E-mail: yhirose@edu.yamanashi.ac.jp
・給与, 諸手当等の事務的事項
教育人間科学部事務部庶務係
Tel: 055-220-8103
10. 封筒に「理科教育講座教官応募書類在中」と朱記し, 簡易書留で送付のこと。応募書類は原則として返却しません。
11. 追加の資料の提出を求めることがあります。また, 面接をする場合がありますが, 旅費等は応募者本人の負担となります。組織の詳細は下記のURLをご

参照下さい。

<http://www.yamanashi.ac.jp/>

理化学研究所

平成 16 年度独立主幹研究員

1. 独立主幹研究員 2 名程度 (平成 16 年 4 月から)
3. 原則として和光キャンパス内
4. 新領域開拓分野または異分野有望分野をはじめとして物理学, 化学, 生物科学, 医科学または工学の科学技術分野で, 理化学研究所での実施可能な研究
5. 平成 16 年 4 月 1 日, 5 年間を限度として毎年度契約更新可能
6. 平成 16 年度 4 月 1 日現在 40 歳未満で博士号取得後, 3 年以上研究経歴を有する方
7. 理化学研究所 HP をご参照ください。
8. 平成 15 年 11 月 13 日(木) 17:00 必着
9. 応募意向のある方は, 平成 15 年 11 月 7 日(金)までに募集要項をご請求ください。氏名, 送付先住所, 電話番号, 送付部数を e-mail か FAX でお知らせください。

理化学研究所 研究調整部 研究交流課 独立主幹研究員担当

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2 番 1 号

E-mail: dokuritsu@postman.riken.go.jp

Fax: 048-462-4714

<http://www.riken.go.jp>

11. 本件は政府予算の成立を前提としております。

研究助成

2004 年度「女性科学者に明るい未来をの会・猿橋賞」の受賞候補者及び研究助成候補者の推薦依頼

「女性科学者に明るい未来をの会」から標記の依頼が届いております。詳細は下記事務局までお問い合わせ下さい。

〈猿橋賞〉

1. 本賞は自然科学の分野で, 顕著な研究業績を収めた女性科学者 (ただし, 下記の推薦締切日で 50 歳未満) に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし, 副賞として賞金 (30 万円) をそえます。
3. 本賞の贈呈は 1 年 1 件 (1 名) です。
4. 所定の用紙に受賞候補者の推薦対象となる研究題

目, 推薦理由 (400 字程度), 略歴, 主な業績リスト, 主な論文別刷 10 編程度及び推薦者氏名・肩書きを, 本会事務局までお送りください。

5. 締切は 2003 年 11 月 30 日

6. 第 24 回の賞贈呈式は, 2004 年 5 月, 東京において行う予定です。

〈研究助成〉

1. 海外のシンポジウム等に出席し, 論文を発表する女性研究者に対し, 研究助成をいたします。
2. 助成金は 1 件 10 万円とし, 年に数件とします。
3. 所定の用紙に推薦対象者 (各締切日において満 40 歳未満) の略歴, 研究業績, 国際会議名 (主催団体, 開催場所, 年月日), 発表論文題目, 推薦理由等を記入して, 下記事務局までお送りください。
4. 締切は 2003 年 11 月末日と, 2004 年 4 月末日の 2 回。

事務局: 女性科学者に明るい未来をの会

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 4-29-2-217

Tel / Fax: 03-3330-2455

山田科学振興財団 2004 年度

研究援助候補推薦

山田科学振興財団より本会宛に, 下記内容の 2004 年度研究援助候補の推薦依頼がありましたのでお知らせ致します。

(推薦要項抜粋)

1. 援助の対象: 自然科学の基礎的研究 (実用指向研究は対象外)

◎研究援助趣旨

- イ. 萌芽的研究
- ロ. 大学新設 (任) 研究室で実施される研究
- ハ. 学際性の豊かな研究

ニ. 国際協力研究

2. 援助の金額: 1 件当たり 100 ~ 500 万円の援助を 10 件程度。(援助金の使用期間は贈呈した年度及びその次の年度の計 2 年間とします。)
3. 推薦件数: 1 学会ごとに 2 件以内。
4. 2003 年度に 1 件の研究援助がありました。

★申請用紙をご入用の方は, 学会事務局までお申し出下さい。

申請書は, 2004 年 3 月 1 日(月)までに下記学会宛に提出して下さい (学会推薦になっております)。

宛先: 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内 社団法人日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 Fax: 0422-31-5487

研究助成結果**2003 年度 (財) 山田科学振興財団研究援助**

研究主題：シンチレーターを塗布することによる X
線 CCD の広帯域高性能化の研究開発
代表研究者：大阪大学大学院理学研究科・助手
宮田恵美
助成金額：250 万円

会務案内
**2003 年度日本天文学会林 忠四郎賞受賞候補
者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文
推薦のお願い**

林忠四郎賞選考委員会

標記の 2 つの賞について、受賞候補者（論文）の推薦をお願いします。

締切は両賞共 2003 年 11 月 20 日(木) (必着) です。下に述べるそれぞれの要領にしたがって記入した推薦書を、

〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内 日本天文学会宛

に郵送してください（論文賞については e-mail も可）。なお、封筒には「林 忠四郎賞候補推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記してください。とくに返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、両賞共本会年会の春季通常総会（2004 年 3 月 23 日、名古屋大学）にて行う予定です。

2003 年度（第 8 回）林 忠四郎賞推薦要領

この賞は、林 忠四郎博士が 1995 年 11 月に第 11 回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士が日本天文学会に寄付された金額を基金にして設定されたものです。

分野等：広い意味での天文学（天体物理学、宇宙物理学、他の関連テーマも含む）における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授

与する。授賞件数：原則として各年に 1 件。

賞状等：本賞として賞状、副賞として賞牌（メダル）および賞金（30 万円）。推薦書の形式：表題は「2003 年度林 忠四郎賞候補者推薦書」としていただき。前年度と同じ推薦をなさる場合も、あらためて推薦書を提出してください。A4 サイズの用紙に、次の順序で横書きにしてください。

1) 候補者（被推薦者、連名授賞可）について：

氏名（ふりがな）、生年月日、大学卒業年、現職及び連絡先（電話、fax、e-mail）

2) 授賞対象とする研究の表題

3) 推薦者について：

氏名（ふりがな）、現職、連絡先（電話、fax、e-mail）、被推薦者との関係

4) 推薦理由の要旨（300 字以内）

5) 推薦理由

6) 関連する論文のリスト

7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3 編以内）

2003 年度（第 8 回）欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は、良い論文が Publications of the Astronomical Society of Japan (PASJ) に投稿・出版されるのを奨励するために設定したものです。なお、本賞の選考委員会は、林 忠四郎賞選考委員会が兼ねることになっています。

対象論文等：原則として過去 5 年以内に Publications of the Astronomical Society of Japan に出版された論文のうち、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文の著者（共著の場合はすべての各共著者）に授与する。授賞件数等：原則として 1 年に 2 件以内。賞状を授与する。

推薦書の形式：表題は「2003 年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」としていただき。A4 サイズの用紙（e-mail でも可）に、次の順序で横書きにしてください。

1) 候補論文について：

論文題目、筆頭著者名、出版された巻、ページ、発行年

2) 推薦理由（1,000 字程度）

3) 推薦者について：

氏名（ふりがな）、現職・連絡先（電話、fax、e-mail）、被推薦者との関係

4) e-mail で応募する場合は jimuj@asj.or.jp 宛に出して、受領した返事を必ずもらって下さい。

Mt. Stromlo 天文台から礼状

山火事被害のあった Mt. Stromlo 天文台への日本天文学会を通じた寄付に対して、オーストラリア国立大学の John Wallis 教授より、受け取りと感謝の手紙が学会宛てに届きました。

文面には、オーストラリア政府より、730 万ドルの予算を獲得し、また保険も幾らかは支払われるが、再建に必要な金額には足りず、今回の寄付が非常に大きな助けになる、とありました。現在は、とりわけ歴史的な建物を再建するために大きな努力を払っているところで、ディナーパーティー等あらゆる機会を捉えて、募金を募っているそうです。日本の天文学会員の援助に感謝すると同時に、彼ら自身、Mt. Stromlo 天文台を灰の中から蘇らせるために、全力を傾けていることをよろしくお伝え下さい、とのことでした。

庶務理事 杉山 直

2003 年度研究奨励賞第 15 回受賞候補者の推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を挙げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。

受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近 5 年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日（本年度は 2003 年 1 月 1 日）で 35 歳以下の者であって、毎年 3 名以内を対象とし、賞状、賞牌（メダル）及び賞金（10 万円）を併せ授与しています。本年度の受賞候補者の推薦を以下の要領でお願いします。

(1) 締切：2003 年 11 月 20 日(木) 必着

(2) 提出書類：○ 候補者名、現職、生年月日、○ 研究の表題、○ 推薦者の氏名と連絡先、○ 推薦理由、○ 関連論文リスト、○ 推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3 編以内）

(3) 提出先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会研究奨励賞選考委員会

選考委員会では、推薦された方の中から、研究奨励賞内規に基づき選考を行い、候補者を評議員会に推薦します。

2003 年度（第 3 回）天文功労賞候補者推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は、近年多岐にわたっている研究機関外での天文活動、たとえば長年の天体観測や、突発的な現象の検出や的確な通報などを、称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・発見功労賞の枠外となっている天文観測・研究活動全般です。なお、天文普及に関しましては、この賞の対象とはしないこととしております。対象者は、「天文研究を主たる業務としない」個人および団体で、日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、評議員会で決定します（天文月報第 94 巻第 12 号 632 頁参照）。

天文学会の会員の方々からの候補者（団体）推薦を、広く募集します。

A4 紙 1 枚程度で、候補者（団体）名、功績名（1 行程度）、功績の説明を書いていただき、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 / Fax: 0422-31-5487 / jim@asj.or.jp）にお送りください。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。今回の選考分につきましては、2003 年 12 月 31 日必着とさせていただきます。なにとぞ多数の御推薦をよろしくお願いいたします。

編集委員 土橋一仁（編集長）、上田暁俊、大石奈緒子、太田耕司、亀野誠二、濤崎智佳、藤田 裕、洞口俊博、増田 智
 平成 15 年 9 月 20 日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
 定価 700 円（本体 667 円）発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 Tel: 0422-31-1359（事務所）/ 0422-31-5488（月報・欧文編集） Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
 日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 E-mail: toukou@geppou.asj.or.jp DTP: 峯尾由紀子